事業活動での環境負荷 2023 年度削減状況

ユーコープでは、事業活動に伴う環境負荷の削減に取り組んでいます。
ここでは、「2030 年に向けたユーコープの環境基本政策」で数値目標を設定した各取り組みの経年推移と削減状況、評価をお伝えします。

※評価　○…2023 年度目標達成、×…2023 年度目標未達成

▸2030 年に向けた
ユーコープの環境基本政策

2030 年までの環境の取り組みの基本的な方向性と考え方をまとめました。

CO_2 排出量

- ◆ 目標：2030 年度までに 2013 年度比で 51%以上削減（2023 年度は 37.7%削減）
- ◆ 2023 年度実績：2013 年度比で 38.3%削減　評価：〇

店舗・宅配センターの設備の省エネ化、省エネコンサルタントによる設備の点検・整備、再生可能エネルギーの導入、エコドライブや配送コースの定期的な見直しによる燃料消費量削減などに取り組んでいます。

※CO2 排出量のうち、電気使用による CO2 排出量は各電力会社の 2022 年度の基礎排出係数を用いて試算した暫定値です。

プラスチック製容器包装使用量

- 目標:2030 年度に 2018 年度比で 25%削減(2023 年度は 14.1%削減)
- 2023 年度実績:2018 年度比で 21.1%削減　評価:○

レジ袋やインストア部門で使用している容器包装の厚さを薄くする、ノントレー化するなどの包装形態の見直しやマイバッグ持参推進など、容器・包装に使用するプラスチック量の削減に取り組んでいます。

プラスチック製品産業廃棄物排出量

◆ 目標:容器・包装などの軟質プラスチックの廃棄量を前年度より削減
◆ 2023 年度実績:前年度比で13.5%削減　評価:○

「プラスチック資源循環促進法」に基づき、プラスチック製品産業廃棄物のうち、商品の容器・包装などの軟質プラスチックの廃棄量を前年度より削減するという目標を掲げ、取り組みを進めています。
なお、ユーコープが廃棄した軟質プラスチックの多くは燃料として活用する、焼却熱で発電するなど再利用されています。

※その他…コープリサイクルセンター、福祉事業、物流センター、本部

食品残さ廃棄量

※リサイクルしている
食品残さは含めない

- 目標:2030 年度に 2020 年度比で 50%削減(2023 年度は 9.5%削減)
- 2023 年度実績:2020年度比で 6.5%削減　評価:×

店舗では期限切れ商品廃棄抑制のため、発注精度の向上や予約受注に取り組んでいます。また、ほとんどの商品の販売期限を賞味期限当日までとしています。そのほか、廃棄する食品残さを削減するために、一部を除く神奈川県・山梨県内の店舗で、葉くずや廃棄食品を飼料や肥料にリサイクルしています。また、店内加工調理で出た魚アラや廃食油はすべて飼料や洗剤などの油脂加工品などにリサイクルしています。